



2018年8月1日

各位

会社名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 穂川 稔
(コード：4569、東証第1部)
問合せ先 社長室 コーポレートコミュニケーション部長 宮木 修次
(TEL. 03-3525-4707)

イミダフェナシンのラテンアメリカにおける開発及び販売等に関する 契約締結について

キョーリン製薬ホールディングス株式会社の子会社である杏林製薬株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:穂川稔、以下「杏林製薬」)は、FAES FARMA, S. A. (本社:スペイン レイオア、President: Mariano Ucar Angulo、以下「FAES社」)と、この度、杏林製薬が創製した過活動膀胱治療剤「イミダフェナシン」(以下「本剤」)のラテンアメリカ(ブラジル、メキシコ他、中南米11ヶ国)における独占的開発権及び販売権等に関する契約を締結しました。

本剤はムスカリン受容体サブタイプのM3及びM1に対して選択的な拮抗作用を示す抗コリン剤であり、過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁を改善します。日本では、杏林製薬が「ウルトス錠0.1mg」の製品名で、2007年6月に発売し、2011年4月より追加剤型としてOD錠(口腔内崩壊錠)を発売しています。

杏林製薬は、世界の人々の健康に貢献するという理念の下、日本国内において本剤の更なる市場浸透を図り過活動膀胱の諸症状に苦しむ患者さんのQOL向上に貢献するとともに、この度の契約によりFAES社と提携しラテンアメリカでのイミダフェナシンの普及を図り、グローバルな事業展開を推進します。

なお、今回の契約締結による2019年3月期の連結業績予測に与える影響は軽微です。

以上

参考資料

◆FAES FARMA, S.A. について

設 立 : 1933 年

社 長 : Mariano Ucar Angulo

売 上 高 : €274.6M (2017 年)

従 業 員 : 1,174 人

概 要 : ファエス・ファルマ社は 1993 年に創業し、医薬品及び原料の開発、製造及び販売並びにそれらの輸出にわたる幅広い事業を展開するスペインの製薬企業です。

当社の特徴は卓越性への絶え間ない追求です。つまり、患者さんへ有効性の高い治療法を提供するために尽力し、全ての製品に対して薬理作用を最大化する努力を継続しています。同社は、多くの国にプレゼンスを有し、マドリードの本社、ビルバオの研究開発センター、リスボンのビトリア研究所及び Diafarm laboratory 並びに海外の子会社及び販売事務所に 1,100 名以上の従業員を擁します。また、傘下の Ingaso Farm 社、Tecnovit 社及び Itf 社では動物用栄養製品及びヘルスケア製品を取扱っています。

詳細については faesfarma.com をご覧下さい。

【過活動膀胱 (OAB : Overactive Bladder) とは】

蓄尿障害を示唆する症状症候群で、尿意切迫感を主症状とし、通常これに頻尿や夜間頻尿を伴い、場合によっては切迫性尿失禁を伴います。トイレの不安のために外出を控えたり、夜間の睡眠が十分取れなかったりと日々の行動が制限され、患者さんの QOL が著しく低下してしまうことが OAB の大きな問題となっています。